

カルテ番号 () 月日 / / / / / /
 患者氏名 ()

Depth*1 深さ 創内の一番深い部分で評価し、改善に伴い創底が浅くなった場合、これと相応の深さとして評価する									
d	0	皮膚損傷・発赤なし	D	3	皮下組織までの損傷				
				4	皮下組織を超える損傷				
	1	持続する発赤		5	関節腔、体腔に至る損傷				
				DTI	深部損傷褥瘡 (DTI) 疑い*2				
	2	真皮までの損傷		U	壊死組織で覆われ深さの判定が不能				
Exudate 滲出液									
e	0	なし	E	6	多量：1日2回以上のドレッシング交換を要する				
	1	少量：毎日のドレッシング交換を要しない							
	3	中等量：1日1回のドレッシング交換を要する							
Size 大きさ 皮膚損傷範囲を測定：[長径 (cm) × 短径*3 (cm)] *4									
s	0	皮膚損傷なし	S	15	100以上				
	3	4未満							
	6	4以上 16未満							
	8	16以上 36未満							
	9	36以上 64未満							
	12	64以上 100未満							
Inflammation/Infection 炎症/感染									
i	0	局所の炎症徴候なし	I	3C*5	臨界的定着疑い (創面にぬめりがあり、滲出液が多い。肉芽があれば、浮腫性で脆弱など)				
	1	局所の炎症徴候あり (創周囲の発赤・腫脹・熱感・疼痛)		3*5	局所の明らかな感染徴候あり (炎症徴候、膿、悪臭など)				
				9	全身的影響あり (発熱など)				
Granulation 肉芽組織									
g	0	創が治癒した場合、創の浅い場合、深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いの場合	G	4	良性肉芽が創面の10%以上50%未満を占める				
	1	良性肉芽が創面の90%以上を占める		5	良性肉芽が創面の10%未満を占める				
	3	良性肉芽が創面の50%以上90%未満を占める		6	良性肉芽が全く形成されていない				
Necrotic tissue 壊死組織 混在している場合は全体的に多い病態をもって評価する									
n	0	壊死組織なし	N	3	柔らかい壊死組織あり				
				6	硬く厚い密着した壊死組織あり				
Pocket ポケット 毎回同じ体位で、ポケット全周 (潰瘍面も含め) [長径 (cm) × 短径*3 (cm)] から潰瘍の大きさを差し引いたもの									
p	0	ポケットなし	P	6	4未満				
				9	4以上16未満				
				12	16以上36未満				
				24	36以上				
部位 [仙骨部、坐骨部、大転子部、踵骨部、その他 ()]				合計*1					

*1 深さ (Depth : d/D) の点数は合計には加えない

*2 深部損傷褥瘡 (DTI) 疑いは、視診・触診、補助データ (発生経緯、血液検査、画像診断等) から判断する

*3 "短径" とは "長径と直交する最大径" である

*4 持続する発赤の場合も皮膚損傷に準じて評価する

*5 「3C」あるいは「3」のいずれかを記載する。いずれの場合も点数は3点とする